



国民の森林・国有林

大槌・気仙川流域国有林の森林計画に関する住民懇談会



五葉山より鷹生ダムを望む

林野庁 東北森林管理局 三陸中部森林管理署

● 説明の内容

目 次

- 1 計画区の主な取組状況について
- 2 次期計画の基本的方針について



1 計画区の主な取組状況について

(1) 公益重視の管理経営の一層の推進

- ・災害からの復旧事業
- ・生物多様性の保全

(2) 森林の流域管理システムの下での

森林・林業再生に向けた貢献

- ・林業の低コスト化等に向けた技術開発
- ・鉄鋼スラグの普及啓発

(3) 国民の森林としての管理経営

- ・森林環境教育の推進
- ・地域やNPO等の連携、モデルプロジェクトの森

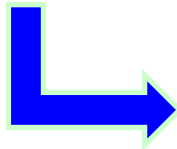
(1) 公益重視の管理経営の一層の推進

○ 治山事業の実施

頻発する集中豪雨等による山地災害に対し、安全・安心な国土・地域の構築のため、治山対策を推進しています。



平成28年の台風10号による被害状況



景観に配慮した治山工事 (釜石市橋野地区)

現地の巨石を利用した護岸工事の状況



平成28年の台風10号により、世界遺産「橋野鉄鉱山」に近接する二又沢が増水して溪岸が侵食されるなどの被害を受けたため、溪岸の侵食防止などを目的とした護岸工事を実施しました。この治山工事では河床整理の際に発生した巨石を利用するなどにより、景観保全にも配慮しました。

○ 生物多様性の保全

原生的な天然林等において、森林生態系や個体群の持続性に着目した保護林を設定し、モニタリング結果を踏まえた保全・管理を推進しています。

この保護林においては、学術研究や自然観察教育の場等への利用にも努めています。

また、溪流等と一体となった森林の連続性の確保による森林生態系ネットワークの形成を通じて、生物多様性の保全に積極的に取り組んでいます。



五葉山生物群集保護林



五葉山自然観察教育林

五葉山周辺の国有林野については、固有種であるゴヨウザンヨウラクやヒバ等を主体とする天然林が分布していることから「五葉山生物群集保護林」として、適切な保全・管理に努めています。

「五葉山自然観察教育林」は、平成29年4月に森林景観を観光資源として活用するため、重点的に整備を実施するモデル箇所指定され、眺望改善のための修景伐採や入山者の利便性向上のため案内板等の整備に取り組んでいます。

(2) 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

○ 林業の低コスト化等に向けた技術開発

民有林への普及を念頭に置いた林業の低コスト化等に向けた技術開発に取り組みました。一貫作業システムにより、スギやカラマツのコンテナ苗を植栽し、効果について検証していくこととしています。

従来の作業方法

伐採・搬出

地拵

裸苗植栽

※伐採と造林が別契約で、伐採後植栽まで時間が経過して、植生が繁茂していました。

一貫作業システム

伐採・搬出

地拵
(枝条整理)

コンテナ苗
植栽



カラマツコンテナ苗

※伐採及び造林の同時・並行作業が可能になります。枝条整理後、植生が繁茂する前に植栽することで、初回の下刈も省略可能となります。



カラマツコンテナ苗植栽(現地検討会)

平成28年度及び29年度に1ha当たり2,000本のカラマツコンテナ苗を一貫作業システムにより植栽しました。

下刈省略の影響等についての調査をしていくこととしています。

○ 鉄鋼スラグの普及啓発

沿岸地域の利点を活かし、船積にて大量輸送される鉄鋼スラグを新設林道に敷設し、維持管理のコスト削減に努めています。

また、地域での活用を視野に現地検討会を開催し普及啓発に努めました。



鉄鋼スラグによる新設林道

鉄鋼スラグは船積みで納入されるため、港からの運搬距離が50km以内が採算ラインであり、港に近い地域の地理的特性が活かされる。



26年度施工箇所での現地検討会(30年度)

施工後4年が経過しても路盤に変化はなく安定している。また路面周囲の雑草の繁茂も少ない。

平成26年度から、鉄鋼スラグを使用した路盤工を行い、路網の維持管理コストの縮減に取り組んでいます。

29年度の現地検討会では、新設工事における施工コストを検証し、30年度は26年度に施工した林業専用道で、施工後の維持・管理費の検証を行い、参加者から生産請負事業終了後の路盤や路肩の状況及び雑草の状況も確認していただきました。

(3) 国民の森林としての管理経営

○ 森林環境教育の推進

学校等と森林管理署等が協定を結び、様々な自然体験や自然学習を進める「遊々の森」の設定・活用など、森林環境教育に係るプログラムの整備や国有林野のフィールド提供等に積極的に取り組んでいます。



(うぶすな)
産土の森での林業体験
(末崎中学校)



事前学習の様子
(末崎中学校)

管内にある「遊々の森」では、末崎中学校と森林管理署が協定を結び、森と海との関係を学習する教育の場として、毎年下刈や植付など、様々な体験活動のフィールドとして利用されています。また、森林環境教育の一環として林業体験の事前学習を行うなど、署職員が講師となり子供たちへ森林の有する多面的な機能の普及啓発に取り組んでいます。

○ 地域やNPO等の連携、モデルプロジェクトの森

自ら森林づくりをやってみたい、国民の次代に引き継ぐべき木の文化を守りたいという要望に応えるため、地元自治体等と森林管理局・署が協定を結び、地域の要請や関係する方々の意見等を踏まえて、国有林野の管理・経営を協働・連携して実施する「モデルプロジェクトの森」を設定し、国民参加の森林づくりを進めています。



橋野鉄鉱山稼働時代の森づくり育
樹祭(開会式)



枝打ち作業中

世界遺産である橋野鉄鉱山周辺の国有林については、釜石市と森林管理局が「橋野鉄鉱山郷土の森保護協定」を結び、橋野鉄鉱山が稼働していた当時の広葉樹林への再生を目指し、間伐を繰り返すなどの森林整備を行うとともに、自然教育や歴史教育の場として活用するなど、地域の方々の意見を踏まえた管理を行っています。



2 次期計画の基本方針について

- (1) 林業の成長産業化に向けた国有林の役割の発揮
- (2) 豊かな自然環境の保全管理及び森林環境教育の推進
- (3) ニホンジカ被害防止と生物多様性の保全
- (4) 病虫害対策の徹底

(1) 林業の成長産業化に向けた国有林の役割の発揮

○ 林業の成長産業化に向けた国有林の役割の発揮

森林吸収源対策としての間伐及び主伐・再造林の推進、モザイク状に配置された森林への誘導等多様な森林整備の推進、森林施業の低コスト化、計画的な木材供給に取り組みます。

また、森林総合監理士等による民有林への技術普及等に取り組みます。



カラマツ列状間伐
(大槌町)



高性能林業機械(プロセッサ)
(大槌町)



低コスト作業システム現地検討会
(住田町)



採材現地検討会
(大槌町)

森林の公益的機能を発揮させつつ森林資源の循環利用による林業の成長産業化の実現に取り組むため、天然力も活用しつつ多様で健全な森林づくりを推進します。

また、林業の低コスト化に向け、安全かつ効率的な伐採が可能な列状間伐、コンテナ苗を活用した一貫作業システムなど、低コスト化に向けた技術の実証に率先して取り組みます。

なお、当地域はニホンジカ被害が多いことから、比較的被害の少ないカラマツのコンテナ苗の植栽を可能な限り推進します。

県、市町、関係団体、林業事業者と連携し、国有林の素材生産現場において採材及び森林作業道作設技術の向上等を目的とした現地検討会を開催し、地域の林業関係者との情報交換を行うなど、低コスト化等の取組の普及に努めます。

(2) 豊かな自然環境の保全管理及び森林環境教育の推進

○ 豊かな自然環境の保全管理及び森林環境教育の推進

管内では、優れた景観を有する貴重な天然林等が多数存在し、また希少野生動植物が数多く生息・生育していることから、地域住民、ボランティア、NPO等とも連携を図りながら、その保全管理に努めます。

また、管内の教育機関の要望に応え、継続的な森林環境教育に取り組みます。



五葉山での清掃活動
(日頃市中学校)



愛染山国有林404林班の溪畔林
(釜石市)



五葉山での森林教室
(大船渡市)



看板設置(五葉山入口)

五葉山周辺は、「五葉山生物群集保護林」や「北上高地緑の回廊」、「五葉山自然観察教育林」を始め、県立自然公園や保健保安林にも指定されている優れた景観を持つ地域が多く含まれています。

こうした場所では、地方公共団体等が主体となり、利用者のための施設整備を図っているほか、森林管理署においても自然環境、景観の維持、動植物の保護等を行う管理経営を行っていきます。

また、自然環境を守る取組として五葉山で清掃活動を行うなど、利用者への注意喚起とマナー向上のための呼びかけを行い、貴重な森林環境の保全管理に努めます。

溪畔周辺については、野生生物の生息・生育場所や移動経路の確保等、生物多様性の保全に努めます。

学校、地方公共団体などからの依頼を受け、森林官及び署職員を講師とした森林教室を実施していきます。

森林教室では、子供たちが森林の働きについて学ぶほか、様々な体験活動を通じ、森を身近なものとして親しんでいただいています。

また、「遊々の森」については、地域住民・子供たちの学習・体験活動を推進するため、引き続き要望を踏まえたフィールドの提供をしていきます。

優れた景観や貴重な天然林等が多数存在するレクリエーションの森は、自然探勝、動植物の観察の場として利用されることから地域と連携を図りながら保全管理に努めます。

(3) ニホンジカ被害防止と生物多様性の保全

○ ニホンジカ被害防止と生物多様性の保全

岩手県内ではニホンジカの個体数の増加や分布域の拡大が見られ、農林業のみならず森林生態系へも影響が及びます。

五葉山周辺は、生息密度が高く、樹皮剥等の被害が多く発生しており、森林被害を防止するため、地域と連携して捕獲・被害防止に取り組めます。

具体的には、

- ・ 当地域で既に定着している「くくりワナ」を基本とし、ツキノワグマの出没が多くクマの錯誤捕獲が懸念される地区では、「囲いワナ」による捕獲事業を行うなど、捕獲手法の確立に努めます。

- ・ 関係市町や猟友会と連携し、「囲いワナ」と「くくりワナ」の貸し出しを行う等、ニホンジカの捕獲支援を行います。

● ボランティアによる防鹿柵の点検・修繕



ボランティアの方々の協力を得て、防鹿柵の点検等を行い、植栽木への被害を防ぐ取組みに努めます。

● 小型囲いワナ設置状況



「囲いワナ」による捕獲事業に取り組む、捕獲技術の向上に努めます。

● 生物多様性保全の研修会



希少な野生生物の生息・生育環境に配慮した森林施業を行うため、研修会を実施し職員の知識向上に努めます。

(4) 病虫害対策の徹底

○ 病虫害対策の徹底

松くい虫被害・ナラ枯れ被害については、被害地域の拡大を防止するため、日常の巡視活動を通じて、早期発見に努め、速やかな被害木の伐倒駆除等に取り組みます。



ナラ枯れ被害木
(フラス (木くず) が確認できる)



ナラ枯れ被害対策
(伐倒・くん蒸処理)



松くい虫被害木伐倒駆除作業

現在、内陸への被害拡大が懸念される松くい虫被害、ナラ枯れ被害については、気温や降水量等の気象要因により増減がありますが、日常の森林保全巡視等において、異常がないか確認していくとともに、県や市町等との連携を図りつつ、早期に対策を進めて参ります。



国民の森林・国有林



東北森林管理局 三陸中部森林管理署



黒岩(五葉山)

林野庁 東北森林管理局 三陸中部森林管理署